

編集後記

4月号では、建築・土木構造物の解体、建設廃材のリサイクル、リユース、リデュースをキーワードとした、解体とリサイクルを特集テーマとして、嘉門先生の巻頭言「建設廃棄物の再資源化へ向けて」から始まり、特集としてビルの解体工法や、リサイクルとしての建設廃棄物の再生技術、土壌洗浄技術、最新の解体機械について取り上げ紹介させていただきました。

テーマのひとつである解体と聞いて思い浮かぶシーンはいったい何でしょうか。いろいろな解体シーンがこれまでの記憶の中で思い浮かぶと思いますが、編集委員の方からは、テレビのニュース等で紹介されていた、発破を使っての解体で、大きなビルがもうもうと粉塵と共に一瞬にして消えてしまうシーンのことが話題に上がり、日本国内の施工事例を調べてみました。残念なことに、国内での事例は殆ど無く、報告論文は見つかりませんでした。アメリカのようなダイナミックな解体シーンは日本国内ではいろいろな規制がかかり無理のようです。

国内での解体工事となると、環境対策が強く求められ、周りの環境等を十分に考慮した施工技術となるようです。ここではカットアンドダウン工法について紹介していただきました。

また、建設解体現場で発生する廃棄物が、現場の外に出た後はどのように分別・再生をされているのかという実態は、意外に知られていないと思います。その実情をご理解いただけるよう、建設混合廃棄物処理の具体的方法についても執筆いただいています。

その他、10年前の作品でありながら、今でも新鮮さを感じさせるデザイン系学生による解体機の提案など、いささか食傷気味の「リサイクル」というテーマを、より広い切り口からの報文でお役立ていただけるように心がけながら、報文を募って参りました。

最後になりますが、原稿の締め切りが2月と、忙しい中を執筆していただいた方々、数少ない中より報文を紹介していただいた方々、大変感謝しております。紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(渥美・久留島)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

編集委員

森川 博邦	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	川崎重工業(株)
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
宮崎 貴志	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO コーポレーション
高木 幸雄	日本道路(株)
宮路 勝善	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機製造(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤田 一宏	施工技術総合研究所

5月号「橋梁特集」予告

- ・E-Defenseを用いた大型橋梁耐震実験
- ・本格的な維持管理時代に向けた技術
- ・光ファイバーを用いた構造ヘルスマニタリング
- ・電場指紋照合法(FSM)を用いた疲労き裂モニタリングの実橋梁への適用性検討
- ・首都高川崎縦貫線超大型クレーンによる一括架設
- ・小型橋梁点検車の開発
- ・4径間連続PCエクストラロード橋の設計・施工—交差角30°で河川を渡る、九州新幹線大野川橋梁—
- ・中央線連続立体交差工事の概要
- ・首都高速5号線タンクローリー火災の緊急復旧工事
- ・近代土木遺産「平木橋」の移設保存への取り組み
- ・空洞やジャンカを生じた橋梁の断面修復
- ・最近の橋梁建設技術—交差点の急速施工—
- ・大型移動吊支保工による4主桁の施工—九州新幹線 第2地下道Bv外3Cp製架他—

No.710「建設の施工企画」 2009年4月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成21年4月20日印刷

平成21年4月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322